

（地独）栃木県立がんセンター
研究所

未来の医療を一緒につくる

研究所かわら版

Vol. 2

栃木県立がんセンターでは、治療だけでなく研究にも力を入れています。同じ施設内で研究を進めることで、がんの仕組みをより深く理解し**県民に最新で質の高い医療を届けること**を目指しています。そのため、研究者たちは日々さまざまながん研究に取り組んでいます。

分子病理分野

脱分化脂肪肉腫の新規予後因子の発見

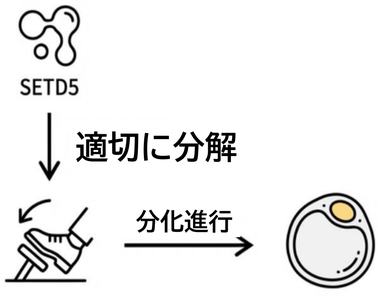
脱分化脂肪肉腫は、同じ病名でも、腫瘍の性質やその後の経過が患者さんによって異なります。私たちは、病理組織の特徴を詳しく調べることで、その後の経過をより正確に予測できる方法を研究しています。



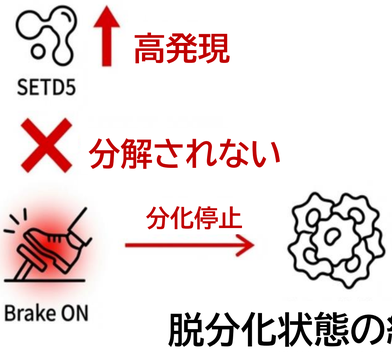
病理診断科 医長
阿部　信
（あべ　まこと）

休日の趣味は写真やゲーム。
写真の腕前は八戸市長賞の受賞経験あり。
最近は子どもの写真が中心。

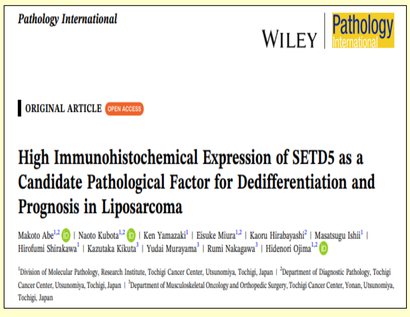
正常な脂肪分化



脱分化脂肪肉腫



脱分化状態の維持??



Pathology International

WILEY | Pathology International

ORIGINAL ARTICLE OPEN ACCESS

High Immunohistochemical Expression of SETD5 as a Candidate Pathological Factor for Dedifferentiation and Prognosis in Liposarcoma

Makoto Abe[1,2] | Naoto Kubota[1,2] | Ken Yamazaki[3] | Eisuke Miura[1,2] | Kaoru Hirabayashi[2] | Masatsugu Ishii[4] | Hirofumi Shirakawa[5] | Kazutaka Kikuta[3] | Yudai Murayama[1] | Rumi Nakagawa[2] | Hidenori Ojima[1,2]

[1]Division of Molecular Pathology, Research Institute, Tochigi Cancer Center, Utsunomiya, Tochigi, Japan | [2]Department of Diagnostic Pathology, Tochigi Cancer Center, Utsunomiya, Tochigi, Japan | [3]Department of Musculoskeletal Oncology and Orthopedic Surgery, Tochigi Cancer Center, Yonan, Utsunomiya, Tochigi, Japan

当院での研究成果が国際誌に発表されました!!

県民のみなさんへ

肉腫をはじめとする希少がんは、専門的な研究を行う施設が限られています。当院では、希少がんの診療と研究に取り組み、その成果をより良い診断や治療につなげ、患者さんに届けることを使命としています。



ご寄付のお願い

地方独立行政法人栃木県立がんセンターでは、県民や団体の皆様からのご寄附を受け付けております。頂いたご寄附は、がんセンターの運営、研究の発展のため有効に活用させていただきます。また、使用用途をご指定いただくことも可能です（例　〇〇のがんの研究に使用してほしい、研究所で使用してほしいなど）。皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

詳細はこちらからご覧ください

栃木県立がんセンター　寄付　検索

(地独)栃木県立がんセンター
研究所ホームページ